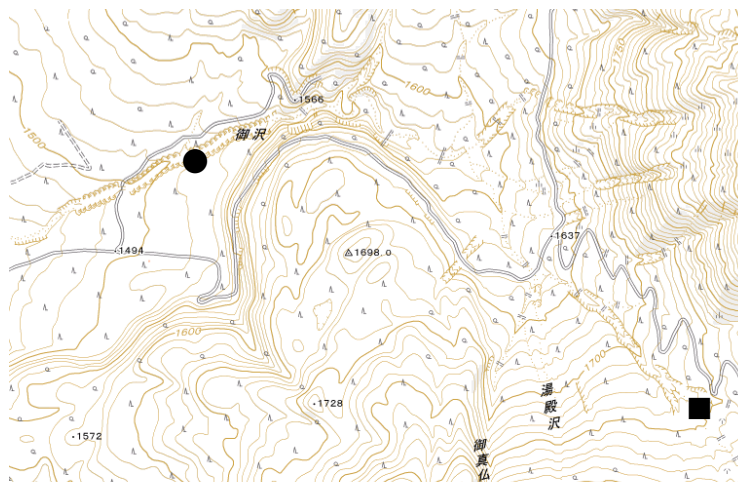


## 大多和の宿跡・御沢金剛峡観察会 令和3年7月11日

参加者は30名（女性14名、男性16名）、午前7時30分、光徳の駐車場に集合、人員確認後出発。



先ず目指したのは日光修験夏峰、秋の五禅頂の宿跡の■大多和の宿跡。

林道沿いの夏を彩る植物を観察しながら志津を目指して裏男体林道を進む。

裏男体林道を進み、大きなヘアピンカーブから右折。小さな沢を二つ越えて進む。

宿跡はカラマツ林の中。室町期全盛を誇った宿跡は今も静寂の中に息づいていた。



●御沢金剛峡は日光修験夏峰の拝所。夏峰『私記』に「屏風ノヨコカケ」とある。

金剛峡の溪谷の末端部、溶岩の上にて昼食後、風雲急を告げて雷鳴轟く。飯場跡の駐車場に一目散。全員無事現地解散。